

事業所名

あっとほーむ見附

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和6年

7月

10日

法人(事業所)理念		・利用者、家族に寄り添い、共に成長する。						
支援方針		・どんなに重い障がいがあっても、子どもたちは幸せに生きる権利があります。子どもの発達や障がいの特性を理解し、必要なサポートをします。居心地よく安心して過ごせる場所、オープンな施設となるよう努めます。						
営業時間		時	分から	時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・生活リズムの安定 ・定期的な心身の把握(検温) ・絵カード、写真を用いて視覚的、具体的な表示をし、タイマーの活用で、始まりや終わりがわかりやすい環境作り ・片付け場所の明確化 ・SSTなどによる、心身的、精神的、社会的訓練 ・排泄介助、食事介助など必要に応じた支援 ・車の乗り降り等安全対策 ・感染症予防の為に換気、消毒などの実施 ・コップ洗いなどのお手伝いをおこない身の周りの出来る事を増やす、生活力の向上						
	運動・感覚	・ストレッチ、軽い体操などの運動 ・バランスボールでの姿勢保持 ・ドッチボールなど集団遊び ・音楽に合わせて体を動かすダンス、踊り ・イヤーマフの配備 ・縄跳びなど跳ぶ、くぐる等道具を用いた簡単な運動 ・歩いて散歩など室外での活動 ・指先をつかった作業(ビーズ通しなど) ・粘土、スライムなどの感触を楽しむ						
	認知・行動	・天気、日付け、季節などの把握 ・数、平仮名などや宿題の取り組み ・1日のタイムスケジュールの確認、時間の認知 ・小集団でのゲームでの適切な行動の形成 ・物の使い方、扱い方 ・声の大きさの調節(屋外、屋内では違う)						
	言語コミュニケーション	・ルールの必要な遊びや活動 ・ボランティアさんとの交流 ・個別での読み書きの提供、言語訓練 ・サインやジェスチャーでのコミュニケーションの向上、タブレットの活用(ひらがな) ・場面に応じたあいさつ(ただいま、いただきます、ありがとうなど) ・どんな小さなことでも、子どもからの話を傾聴する ・始まりの会、帰りの会での気持ちを言語での表出、受容、称賛						
	人間関係社会性	・乗り物など公共の場の過ごし方等の体験 ・ルールの理解が必要な遊び、活動 ・公民館、公園等のイベントを通じた地域交流 ・見立て遊び、ごっこ遊び、一人遊びなどができる玩具、場所の確保及び発展的な子供同士での遊び ・買い物の仕方、お金について ・簡単な調理、おやつ作り						
家族支援		・親子関係や家庭内を安定、充実できるようにいつでも相談できる体制作り ・関係機関と連携をし、特性や年齢なども含めた家族をトータル支援をします。		移行支援		・児童クラブ、日中一時支援、自治会など連携を幅広く取れる体制作り、就労を視野に入れた作業活動などの充実、社会のルール、マナー面の指導		
地域支援・地域連携		・地域の事業所に対する理解の増進、地域住民として見守り、交流できる場を設けていき、ホームページでの開けた事業運営を図る。ボランティアの積極的な受け入れ		職員の質の向上		・社内、社外研修を併せ、年4回の勉強会の実施 ・職員同士の意見の交換など定例会議の実施 ・定期的な職員面談		
主な行事等		・夏祭り、クリスマス、七夕、ハロウィン、節分、お花見、外出、外食など						